

ふじおか義英県議会だより

一般質問



沖縄戦の歴史認識と 沖縄県との交流連携について

長野県と沖縄県が締結している交流連携に関し、戦後80年、沖縄戦を経験した沖縄県と平和をテーマとした交流も深めていくべきではとして、①平和教育の充実②若者交流事業での実施③佐久市の糸洲の壕学習環境整備事業について、沖縄県民が戦争に巻き込まれた背景を踏まえ、被害、加害、双方の多面的視点から歴史を伝え、平和の意義を普及促進④沖縄県・長野県両県の知事が戦跡や平和施設をそろって訪問し、平和的交流をさらに促進、の4点を提案しました。

(トランプ関税から中小企業と雇用を守るための
との質問については裏面に掲載)

産業観光企業委員会での質疑

産業労働部

賃上げした中小企業を直接支援する制度を創設した岩手県が行った、事業関係者から集めたアンケートを紹介しながら、制度の効果について分析・検証を引き続き行うよう提案。また価格転嫁できない事業者への支援と、発注側企業に対して価格交渉を行わせるなど国と連携し、下請法の遵守を要請する取り組みの強化を求めました。

企業局

水道事業について、人工衛星やAIを活用して、水道管の漏水調査を効率的に行う取り組みについて、その効果や取り組みの現状を確認し、同様の取り組みを行っている他の自治体や事業体と比較・検討しながら、より効果的で経済的な方法を調査・研究することを求めました。

観光スポーツ部

宿泊税は、その財源の使い道について、広く県民の意見を聞き反映する方法も実施し、決定すべきだと提案しました。

部活動の「地域展開（地域移行）」について、国がまだ財政的にも地域クラブの定義についても具体的な内容を示していない中、保護者や地域の意見を聞きながら、慎重に移行していくべきことを、保護者の声を紹介しながら要請しました。

行方不明の搜索のあり方について

防災無線早ければ救えたのでは…

佐久市で4月、車で外出後に行方不明となり、遺体で発見された80代男性の事件について、行方不明届を出してから、佐久市の防災無線で情報提供を呼びかけるまで3日間空いたことについて質問しました。

初期段階で防災行政無線の活用方法を案内すべきではなかったか、担当者の経験や知識によって説明や対応に差

が出てしまう恐れを想定し、現場対応マニュアルを作成すべきではないかと質問。

警察本部長は、今回の事案について、何らかの事件・事故に遭遇している可能性を考慮し、慎重に対応した。事案ごとに臨機応変、柔軟な対応が必要で、マニュアルはないと答弁。

【再質問】現場の対応は統一すべき

亡くなった方は夕方に戻ってくる予定だったこと、高齢で糖尿病のために無理できない体調なので遠出することはありません。事故に遭われたとして、迅速かつ的確に対応すべきだった。もし警察から防災無線についての提案があれば、関係者はすぐ放送の要請をしていたはず。搜索願が出された際、最低限何を伝え何を説明するのか、その対応は統一すべき。対策マニュアルは必要ではないかと再質問。

県警本部長は、今事案は詳細がわか

らないところもあるが、それぞれの事案について今はその現場の判断でやるというのが通常。ただ今回については、本当に結果として助けられなかったということは大変残念であり、改めてお悔やみを申し上げたいと答弁されました。

関係者の無念は計り知れない。今回の事件を教訓化し、二度とこのようなことが決して起こらないことを求め、一般質問をまとめました。

——地元の声聞き現地調査へ——

立科町や信州たてしな観光協会から、白樺湖へアクセスする県道40号での倒木などによる支



立科県道40号線（5月12日）

障木の問題について、現状確認の要請があり、地元県議と共に現地調査してきました。

県営千ヶ滝農業水利改良事業で大改修をおこなってから、約60年を経て施設の老朽化による漏水、豪雨による溢水などの支障が出ており、見てほしいとの土地改良区の要請があり、地元県議と共に視察してきました。



千ヶ滝湯川用水（6月2日）

日本共産党県議会報告

No 9 2025年8月 【2025年6月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

